

補助事業番号 19-社-5

補助事業名 平成19年度高齢者の認知症支援に関する情報提供補助事業

補助事業者名 公益社団法人認知症の人と家族の会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

人口高齢化がすすむわが国では、認知症の人の数は170万人ともいわれている。この数は今後も増えつづけ、2015年には250万人になることが推定されている。認知症の人を介護する家族、及び介護に関わる関係者に認知症の正しい知識と理解を深めるための情報を提供し、公益の増進に寄与することを目的とした。

(2) 実施内容

認知症の人を介護する家族、及び介護にかかわる関係者に認知症に対する正しい理解を深め、情報を提供するために機関誌「ぼ～れぼ～れ」を発行した。

ア. 編集委員会を設置し、年2回の委員会と毎月編集会議を実施した。

イ. 機関誌の内容は、認知症に関わるニュース（国内・国外）、会の活動の主な内容、連載読物（認知症に関する医療・介護）、会員の声、介護体験、制度の解説、本人のためのページ（「仲間と出会い話したい」等認知症の必要な情報を提供した。

ウ. 発行部数：毎月 16,000部（但し、4月号は17,500部）年間 193,500部

エ. 会報の発送：毎月13日に発送。会員、支部、賛助会員、厚生労働省、地方自治体、保健所、福祉関係者、マスコミ、図書館、学校等広範囲に発送している。

2. 予想される事業実施効果

機関誌の普及は読者の読後感で広まっていく。読者から寄せられる反響で内容の良否の判断は可能であり、新規会員増でも判断することはできる。読者からのお便り欄を設けているが、毎号ページを埋め尽くせないほどのお便りや介護のアドバイスなどが寄せられ、機関誌がいかに役立っているかがうかがえる。また、会員数も順調に増えており、機関誌によせられる効果は大きかったといえよう。

3. 本事業により作成した印刷物

機関誌「ぼ～れぼ～れ」193,500部

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：公益社団法人認知症の人と家族の会

住所：602-8143

京都市上京区猪熊通丸太町下る仲之町519番地京都社会福祉会館

代表者名：代表理事 高見 久二雄（タカミ クニオ）

担当部署：本部事務局（ホンブジムキョク）
担当者名：事務局員 三木 敦子（ミキ アツコ）
電話番号：075-811-8195
F A X：075-811-8188
E-mail：office@alzheimer.or.jp
U R L：<http://www.alzheimer.or.jp/>